

■ サービス内容

サービス名	あくねスマート窓口プロジェクト「書かない窓口サービス」	事業費	122,264千円
ターゲット	阿久根市民（特にマイナンバーカードを持っている高齢者）		
展開エリア	鹿児島県阿久根市		

サービス内容（事業分野：①行政サービス）

1.市の現状、背景

阿久根市の人口は、昭和30年の41,180人をピークに年々減少し、都市部への社会流出や少子化による自然減少が急速に進行している。さらに、平成27年の高齢化率は38.5%と全国平均（26.6%）を大きく上回り、超高齢社会となっている。

また、令和3年度末時点で、77行政区のうち高齢者比率が40%を超える区が54区と7割を占め、特に中山間部の集落において高齢者比率が高い。

日常的に窓口に来庁される方の割合も高齢者が多いが、加齢による手指の筋力、視力及び聴力の低下などにより、自筆での申請書記入が大きな障壁となっており、窓口における市民の負担軽減が課題となっていた。

2.導入するサービス

課題を解決するため、マイナンバーカード（MNC）を活用した「書かない窓口」を導入する。

MNCの本人認証により、中間データベースが保持する「氏名」「住所」「生年月日」などの情報が端末上のデジタルフォームにプリセットされ、その他の項目は職員の聴き取りにより入力することで、申請書を「書く」という作業がなくなるものである。特に高齢者の負担軽減が図られ、MNCの利便性を身近に感じることで、未取得者への波及効果が期待できる。

